

東日本大震災ボランティア参加大学生アンケート

ご協力のお願い

このアンケートは、東日本大震災のボランティアに参加した大学生の声を、今後の大学教育にいかすために行うものです。アンケートの調査結果については、後日関連学会およびHPにて公開します。また、以下の項目への回答はすべて任意です。アンケートの回答は統計的に処理します。個人を特定できる個人情報が外部に出ることは一切ありません。ご協力をお願いします。

【アンケート実施団体】

尚綱学院大学共同研究「東日本大震災後の「思想的言説」が大学生の「体験」形成におよぼした影響に関する基礎研究 東日本大震災ボランティア参加大学生アンケート班
(協力：東北学院大学、西南学院大学)

【共同研究代表】

尚綱学院大学人間心理学科教授 やないまこと 箭内 任

本アンケートについてご不明な点やご質問がありましたら、下記までお問い合わせください。

尚綱学院大学総合人間科学部人間心理学科 箭内研究室

所在地：〒981-1295 宮城県名取市ゆりが丘 4-10-1

TEL：022-381-3403

Eメール：yanai@shokei.ac.jp

東日本大震災ボランティア参加大学生アンケート

Ⅰ あなたの所属や東日本大震災ボランティア参加回数・時期についてお聞きます。

(1) 性別(該当する番号を○で囲んでください)

1. 男 2. 女

(2) 現在の年齢(該当する数字を記入してください)

_____ 才

(3) 東日本大震災ボランティア参加時の所属大学(大学名を記入してください)

(4) 3・11(東日本大震災発生日) 当時いた都道府県名を記入してください。海外の場合は「海外」と記入してください。

(5) 3・11(東日本大震災発生日) 当時の学年(中学、高校または大学を○で囲み、学年を記入してください。学生以外の場合は、該当する項目を○で囲んでください。)

中学 高校 大学 _____ 年 浪人中 社会人 その他

(6) 東日本大震災ボランティア参加回数(該当する参加回数の番号を○で囲んでください)

1. 1 回 2. 2 回 3. 3 回 4. 4 回 5. 5 回 6. 6 回以上

(7) 東日本大震災ボランティアに参加した時期すべてに○を記入してください。

	1～3 月	4～6 月	7～9 月	10～12 月
2011 年				
2012 年				
2013 年				
2014 年				
2015 年				

(8) 東日本大震災以前に何かボランティアを体験したことはありますか？該当する項目の番号を○で囲んでください。

1. はい 2. いいえ

(体験したボランティア内容：_____)

Ⅱ あなたが東日本大震災ボランティアに参加された動機についてお聞きます。

(9) 東日本大震災ボランティアに参加するにあたり、以下の項目の影響を受けましたか？該当する項目の番号を○で囲んでください。

a. 震災を扱った大学の授業

1. 影響を受けた 2. 影響を受けなかった 3. 受講した授業の中に震災を扱ったものはなかった

(影響を受けた科目名および内容：_____)

- b. 東日本大震災ボランティアへの参加を大学の教職員に勧められたこと
1. 影響を受けた 2. 勧められたが影響を受けなかった 3. 勧められていない
- c. 東日本大震災ボランティアへの参加が大学の単位として認定されること
1. 影響を受けた 2. 単位認定されるが影響を受けなかった 3. 単位認定されなかった
- d. 大学の建学の精神や教育理念
1. 影響を受けた 2. 建学の理念等を知っていたが影響を受けなかった 3. 建学の理念等を知らなかった
- e. 大学での宗教行事(礼拝、座禅、講和など)
1. 影響を受けた 2. 宗教行事はあったが影響を受けなかった 3. 宗教行事はなかった
- f. 大学で所属しているサークル団体が東日本大震災ボランティアに参加したこと
1. 影響を受けた 2. 所属サークルは参加したが影響を受けなかった 3. 所属サークルは参加しなかった、
またはサークル団体に所属していなかった

(10) 東日本大震災ボランティアに参加するにあたり、以下の項目の影響を受けましたか？該当する項目の番号をすべて○で囲んでください。

1. 自分が被災3県(岩手・宮城・福島)にいたこと
2. 家族・友人・知人に被災者がいたこと
3. 東日本大震災以外に被災した経験があったこと
4. 周りがみんな参加していたこと
5. 家族・友人に勧められたこと
6. 中学または高校の授業など
7. マス・メディア、ネットなどの情報

(11) 東日本大震災ボランティアに参加した動機は何ですか？下記の中から選び、該当する項目の番号をすべて○で囲んでください。

1. 人の役に立ちたいと思った
2. 被災地を自分の目で見たかった
3. 大学で学んでいる専門知識を生かせると思った
4. 就活に役立つと思った
5. 比較的時間に余裕があり、自分でその時間を使えた
6. その他 ()

Ⅲ 東日本大震災ボランティア活動の影響についてお聞きます。

(12) 東日本大震災ボランティアは、それによって出会った人々にどの程度影響を与えたと思いますか。該当する程度の番号を○で囲んでください。

1. 大きな影響を与えたと思う 2. 少しは影響を与えたと思う
3. ほとんど影響を与えなかったと思う 4. 全く影響を与えなかったと思う 5. わからない

(13) 東日本大震災ボランティア体験をとおして、あなたは以下のような考えを持つようになりましたか？該当する項目の番号をすべて○で囲んでください。

1. 一日一日を大切に生きようと思うようになった
2. 家族や友人との絆は大切だと思うようになった
3. 地元に愛着を感じるようになった
4. 日本は素晴らしい国だと思うようになった
5. いずれも当てはまらない(→問(15)へ)

(14) 問(13)のような東日本大震災ボランティア体験をとおした考え方の変化に、以下の項目は影響を与えましたか？該当する項目がありましたらその番号をすべて○で囲んでください。

1. 家族との会話
2. ボランティア仲間との会話
3. ボランティアに参加していない友人との会話
4. マス・メディア、ネットなどの情報
5. 書籍
6. 大学の建学の精神や教育理念
7. 大学の授業
8. 大学の宗教教育や宗教行事
9. ボランティア・ステーションをとおした学生交流会
10. その他 ()

(15) 東日本大震災ボランティア体験によって以下の項目についてのあなたの考えはどのように変わりましたか？各項目について該当する番号を○で囲んでください。

- a. 大学の建学の精神や教育理念は意味がある
 1. 前よりそう思うようになった
 2. 前よりそう思わなくなった
 3. 変わらない
- b. 大学の授業を真面目に受ける
 1. 前よりそう思うようになった
 2. 前よりそう思わなくなった
 3. 変わらない
- c. 大学の宗教教育に積極的に参加する
 1. 前よりそう思うようになった
 2. 前よりそう思わなくなった
 3. 変わらない
- d. 人の役に立つ職業に就く
 1. 前よりそう思うようになった
 2. 前よりそう思わなくなった
 3. 変わらない
- e. 卒業後もボランティア活動を継続する
 1. 前よりそう思うようになった
 2. 前よりそう思わなくなった
 3. 変わらない

(16) 東日本大震災ボランティアを行うにあたって、今後大学が以下の項目に力を入れることをどの程度期待しますか？各項目について該当する程度の番号を○で囲んでください。

a. 建学の精神や教育理念の周知徹底

1. まったく期待しない 2. あまり期待しない 3. 少し期待する 4. 強く期待する

b. 震災を扱う授業

1. まったく期待しない 2. あまり期待しない 3. 少し期待する 4. 強く期待する

3 または 4 を選んだ人は、具体的にどのような内容の授業を期待しますか：

()

c. ボランティアに役立つ授業

1. まったく期待しない 2. あまり期待しない 3. 少し期待する 4. 強く期待する

3 または 4 を選んだ人は、具体的にどのような内容の授業を期待しますか：

()

d. ボランティアに役立つ宗教教育

1. まったく期待しない 2. あまり期待しない 3. 少し期待する 4. 強く期待する

3 または 4 を選んだ人は、具体的にどのような内容の宗教教育を期待しますか：

()

e. 他大学の学生との交流会

1. まったく期待しない 2. あまり期待しない 3. 少し期待する 4. 強く期待する

f. ボランティア体験を振り返る機会の提供

1. まったく期待しない 2. あまり期待しない 3. 少し期待する 4. 強く期待する

g. 継続するボランティアの機会の提供

1. まったく期待しない 2. あまり期待しない 3. 少し期待する 4. 強く期待する

h. ボランティアに参加するための交通・宿泊の便宜

1. まったく期待しない 2. あまり期待しない 3. 少し期待する 4. 強く期待する

i その他期待すること()

(17) 東日本大震災ボランティアを行うにあたって、今後大学に期待することがあれば、自由に記述してください。

(18) 東日本大震災ボランティア活動のなかで、特に印象に残った出来事・エピソードを教えてください。

ご協力ありがとうございました。

尚絅学院大学

箭内 任 殿

私は、アンケートへの回答依頼書に記載されている調査研究の目的と方法について説明を受け、調査研究に参加することに同意いたします。

なお、研究参加の途中、いかなるときにでも回答を取り止める権利を私が有することも確認いたしました。

____年 ____月 ____日

フリガナ

氏名: _____